

宿泊セミナーFD分科会報告（2日目）

システムデザイン学部・助教
土井 幸輝

2007年6月1日（金）首都大学東京宿泊セミナーFD分科会（於 大学セミナーハウス講堂、10時00分～11時15分）の内容について、以下、報告する。

1. FDに関する講話

まず、基礎教育センターの舩本直文教授より「FDとは、本学の中期目標とFD、本学FDの課題」に関する講話があった。講話の内容は以下の通りである。

1.1. FDとは

FDに関してFaculty Development（ファカルティ・ディベロップメント）の略語であることは一般に知られているが、その詳細に関しての理解は深いとは言えない。そこで、まず基本的なところからFDに関するレクチャーを受けた。

FDとは一般には以下のように定義される。

- ・大学教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組みの総称。
- ・個人的営みではなく大学集団としての取り組みであり、大学の諸活動（研究・教育・社会サービス・管理運営）を活性化させることにより、学問を発展させ社会発展に貢献すること

なお、本学としては、以下のようにFDに関して定義していることが紹介され、本学の一人の教員としても組織の一員としてFDに関する理解が深まった。

- ・組織的な教育体制を構築する一環として、個々の教員の授業内容・方法を不断に改善するため、全学あるいは学部・学科全体で、それぞれの大学の教育理念・教育目標や教育内容・方法について組織的な研究・研修を実施することが重要である。大学のこうした取組を「ファカルティ・ディベロップメント」と言う。

1.2. 本学の中期目標とFD

本学のFDの推進状況を本学中期目標と照らし合わせて紹介された。中期目標は、FDを活用した教育の質の評価・改善であり、目標達成の為には以下のような取り組みが必要であることが示された。

- ・大学の使命、社会ニーズ・学生ニーズに合った教育を提供しているかどうかという視点から、各学部、研究科をはじめ全学を上げて、教育の質の改善に不断に取

り組まなければならない。

- ・基礎教育センター等が中心となり、FD、自己点検・評価を行うとともに、認証評価機関による第三者評価も加えて教育の質の改善に取り組む。

また、本学完成年度に向けて、今後もFDを発展させ更なる教育の質の向上への取り組みが必要であることが述べられた。このことに関して、個人としてはFDに関連して大学の使命やニーズにマッチした教育活動について考える良いきっかけとなった。

1.3. 本学FDの課題

本学FDの課題に関しても以下のような項目で紹介された。

- ・スタッフ・教員の拡充
- ・FD予算の確保
- ・FD場所の確保

基礎教育センターとして、とりわけ予算に関しては、特色ある教育プログラム・現代ニーズの教育プログラム（教育COE）などへのアプライを検討しており、外部の資金確保に努めているとの現状報告がなされた。

2. 総括

本分科会では、まずFDに関して十分に理解することを目的としたものであったという印象を受けた。これまで、FDに関して理解は十分とは言えるレベルではなかったが重要であるという認識はあった。他大学でもFDの活動は行われていることをよく耳にしていた。本分科会に参加して、日々の教育活動・研究活動の改めて自己点検し、それらの活動の質の向上に努めていければと強く感じた。